

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

■ 事業報告

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

- ・希望が丘南地区と希望が丘地区から成り立つ地域です。両地区とも地域の方々は積極的に地域活動に取り組み、課題について地域での課題として捉え、解決しようとする姿勢が根付いています。
- ・世代間同居や近距離に家族が居住している世帯も多く、子育て、介護等については家族間での協力体制が比較的多くあります。また、近隣の住民間での共助もなされており、顔の見える関係づくりを積極的に行っておられます。
- ・両地区においては丘陵地に住宅街があり、公共の交通機関が十分でなく、高齢世帯、日中の家族不在などの理由で日常的な買い物等の移動手段に不便を感じているという声が上がってきました。
- ・老人会などの既存の集いの場の担い手不足などにより、高齢者人口の伸びに反して、集いの場などの場所は減少傾向にあります。
- ・障害があっても地域社会に溶け込み、災害時においても安心して避難できるように日ごろからの関係の構築が必要とされています。
- ・地域ケアプラザが福祉活動の拠点となり、また総合相談窓口として広く地域住民に認知されるよう活動をしていきます。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

・地域の身近な総合相談窓口として、高齢・子ども・障害問わずあらゆる方からの相談を受け、また業務や地域住民とのつながりの中で把握した情報を受け止め、適切な支援に繋がりました。必要に応じて区役所や関係機関につなぎ連携して支援を行っています。

今年度相談件数 158 件、うち新規 4 件

（内訳：精神障害 142 件 知的障害 3 件 身体障害 1 件 児童虐待 12 件）

・障害の新規相談について、区の障害者支援担当のケースワーカーへ繋ぎ、必要に応じて訪問を行い、個別支援会議に出席し連携して支援を行いました。継続の相談についても、区の障害支援者担当のケースワーカー、旭区生活支援センターと連携し、身近な相談窓口として継続的な支援を行いました。

・地域や関係機関の会議、自主事業において、ケアプラザが身近な子育て・障害分野の相談窓口であることを広く周知しました。「障害のことはケアプラザに」が地区の民生委員や、自治会の方に浸透してきており、民生委員や自治会の方からの相談でつながるケースも増えています。

・相談内容に応じて、福祉サービスのご案内のほか、インフォーマルサービスの情報提供を行いました。

・相談から抽出した課題に対して、今年度は精神障害の女性を対象にした自主事業を新規で立ち上げ、課題解決につながるよう事業を実施しました。また、精神障害の方からの相談が多いことから、テーマを「精神障害」とし障害特性とのかかわり方について障害理解講座を開催しました。

・職種、部門を限定せず幅広く「総合相談・支援」を行いました。なかでも障害分野や地域から上がる相談に 5 職種が連携し広く対応、適切な支援に繋ぎ必要に応じて継続的に支援を行いました。また、職場内での相談内容と支援内容の共有を図りました。

・障害分野の相談に対し、あらゆる方からの相談対応ができるよう積極的に研修に参加し、制度や様々な障害特性について理解を深めるよう努めました。

（若者相談支援スキルアップ研修 4 件、障害児者関係研修 4 件、子ども関係研修 2 件、生活困窮関係研修 1 件、神奈川県障害者相談支援従事者初任者研修 6 回受講）

(2) 各事業の連携

・5 職種会議にて、各部門の現状の報告、課題の共有、動きの共有等を行いました。特に地域の方からの声については、ケアプラザ内で共有し部門で抱えることなく、ケアプラザでの対応を協議しました。

・各部門で取り組む事業については、ケアプラザ内役割分担を行ったうえで共催し、事業を実施しました。事業終了後には課題の抽出を相互で行い、次の事業につなぐようにしました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

・横浜市の配置基準を満たし、人員の配置をしました。年度を通じ欠員はありませんでした。

・内部研修は年間計画通り実施され、個人情報保護、人権擁護、ハラスメントを盛り込み年 7 回実施しました。

・外部研修は、各専門職種の専門分野のみにとどまらず、記録の取り方、ファシリテーション研修等業務を超えて参加できる研修にも積極的に参加しました。研修報告はファイルにまとめケアプラザ内で共有可能な状態になっています。

・公正、中立であることを常とし利用者にサービスを紹介する場合などにおいては複数紹介をする等徹底しました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

・今年度よりケアプラザエリアにある3つの地域防災拠点の委員の方を対象に、南希 CP エリア地域防災拠点連絡会を開催し、障害についての勉強会や他県での取組の紹介のほか、地域防災拠点での障害児者受け入れの際の課題と具体的な取組についての検討を行い、災害時の対応に向けたネットワークの構築を図りました。具体的な取組として、「避難所ヘルプカード」の作成を連絡会で行い、地域にお住まいの障害児者へ向けて次年度配布できるよう準備をすすめています。

・希望が丘地区・希望が丘南地区支えあい連絡会共催事業「きぼうファーム」を通じて、両地区間のさらなるネットワークの構築と、当事者・家族と地域住民との顔の見える関係づくりに努めました。きぼうファームの取組に、より多くの地域の方に参加してもらうことで、障害に対する理解啓発が促進され、障害児者を地域で支えるネットワークが広がるよう、ケアプラザとして支援を行いました。

・旭区自立支援協議会のメンバーとして、障害分野でのさらなるネットワークの構築に努めました。

7月に開催したあっぱれフェスタでは、区内の高等学校と事業所との顔の見える関係づくりを行いました。区内の高等学校へ出向き、旭区自立支援協議会の取組とあっぱれフェスタについての説明を行い、ボランティア活動への協力依頼を行いました。コラボ企画として事業所に通所されている当事者の方と、区内の高等学校に通学されている高校生が、一緒にダンスを踊り交流を図りました。

・つながろうプロジェクト南希 CP エリア地域連絡会を開催し、地域の障害事業所と地域とのネットワークの強化に努めました。情報交換の他に南希 CP エリア地域防災拠点連絡会での取組についても情報共有を行い、当事者の声も取組に反映できるよう事業所として協力をしていただきました。今後事業所にも南希 CP エリア地域防災拠点連絡会に参加してもらい、さらなるネットワークの構築へ向けて取組を広げていきます。

・支えあい連絡会では、支援チームとして地域住民と協働で、地域の中ですでに取り組みられていることの整理や、課題の抽出を行い、第3期地域福祉保健計画地区別計画の推進が住民主体で図れるよう支援を行いました。

・きぼうタウンプロジェクトでは認知症の当事者や家族が地域で孤立しないよう、地域住民同士、地域住民と介護事業所等とのつながりをさらに深め、地域全体で認知症について考えることができるようなネットワークの強化に努めました。

・希望が丘南地区での買い物の課題に関し、民間の事業所の移動販売の説明会などを地域住民に向けて行うなど、気軽に話し合いができる場を設け、課題解決に向けたネットワークの構築に努めました。

・みんなの集いの場では、連合や自治会を超えた地域住民同士、ボランティア団体同士の更なるネットワークの強化に努めました。

・横浜銀行からの地域貢献活動として消費生活推進委員の代表につなげ、地区社協での「消費者被害講演会」の登壇者としての活動を支援しました。また、地域課題の理解を深めてもらうため、社内の勉強会を開催する等、地域と地域の民間企業のネットワークの構築に努めました。

・サービス B 事業を始めた希望カフェの支援活動として、関係者を集め話し合いを行い、近くに住む住民の外出支援に繋げました。

(5) 区行政との協働

・子育て支援事業において、区こども家庭支援課と連携し協働して子育て支援に努めました。子育てサロン mam-mam では、地区担当の保健師による発達相談や育児相談の時間を設けました。

・区生活支援課とケアプラザエリア内の生活困窮者自立支援制度における相談件数について情報共有を行いました。今後地域に向けて生活困窮者自立支援制度の周知を連携して図っていきます。

・支えあい連絡会では、支援チームのメンバーとして区や区社協と連携し地域課題の把握や情報提供に努め、第3期地域福祉保健計画の地区別計画推進に向けて協働して取り組みました。きぼうファームでは、地域主体で実施する上での課題等を共有して、支援チームで連携して後方支援を行いました。

- ・障害者支援において、担当の区ケースワーカーと随時情報共有を行い、連携して個別支援を行いました。
- ・高齢者支援において、担当区ケースワーカー・保健師が毎月のカンファレンス等で適宜情報共有を必ず行い、必要に応じて同行訪問をする等連携して個別支援を行いました。
- ・生活支援体制整備事業においては区高齢・障害支援課地域包括ケア推進担当と旭区社会福祉協議会の第1層生活支援コーディネーター、地区担当と情報共有を行い、連携して事業を推進し、地域支援を行いました。
- ・介護予防・生活支援補助支援サービス事業（サービス B）においては、区高齢・障害支援課地域包括ケア推進担当と旭区社会福祉協議会の第1層生活支援コーディネーター、地区担当、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターと連携し、事業実施団体に対して支援を行いました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・個別課題と地域課題の循環を意識し、総合相談業務等から把握した個別課題を地域の課題として捉え、課題解決につながるよう福祉的な視点で自主事業に取り組みました。
- ・Dandy Kitchen～ふれあい子ども食堂～を今年度より毎月開催とし、地域の子どもの居場所支援・学習支援・孤食支援を行いました。長期休暇時には、9時から17時まで開催し、1日を通じて地域の子どもたちの居場所支援、食事の支援、宿題の支援を行いました。Dandy Kitchen～ふれあい子ども食堂～が、地域の子どもたちのセーフティネットにつながるよう、地域の多くの大人に関わってもらい地域の子どもたちに関心を持ってもらえるよう、ケアプラザを利用している登録団体の皆さんに、ボランティアとして関わっていただきました（10団体協力）。
- 調理や子どもたちの学習支援、遊び相手になってくれる定年退職後の地域の男性にとっても、仲間づくりや地域貢献する場となっています。子どもたちとの顔の見える関係もでき、毎回「ダンディ」と遊ぶのを楽しみにしている子どもたちの姿がみられるようになりました。
- ・子育てサロン mam-mam のほか、親子のフリースペースを毎月第3月曜日の午前中に開催し、子育て世代への支援とケアプラザの機能の周知に努めました。
- ・今年度より精神障害やこころの病のある女性を対象にスイートピーくらぶを開催しました。当事者の交流を目的とした茶話会のほか、個別の相談支援で把握している生活課題やニーズを事業内容に取り入れ、お惣菜や冷凍食品を活用し、アレンジした簡単なクッキング教室や、運動不足解消の為のヨガやポッチャなどの軽運動のプログラムを行いました。
- ・近年成人の方の余暇支援の場の相談が増えていることから、障害児を対象にしていた余暇支援事業さわやかクローバークラブを、年齢や障害種別を問わず広く参加していただけるよう事業を実施しました。事業を通じて、参加者と地域のボランティアの方が交流できるようなペアでの活動を行いました。ボランティアの方が安心して参加者と活動ができるよう、かかわり方等のポイントを一人ひとりに丁寧に伝え、事業に参加することで障害理解・啓発につながるよう努めました。5月に里山ガーデンとズーラシア、8月には地域活動ホームサポートセンター連との共催で油壺マリンパークに行きました。その際ケアプラザで活動されている地域の男性が、ボランティアとして事業に協力してくださいました。
- ・夜間帯の貸館の有効活用と、地域の方々の居場所支援、中学生や高校生の学習する場や居場所支援としてみんなのフリースペースを月4回開催しました。毎月ケアプラザ新聞で開催日を周知するほか、中学校へ家庭数分案内を配布し広く周知を行いました。
- ・地区の第3期地域福祉保健計画の推進の一環として行っている障害児者支援事業「きぼうファーム」の事業の後方支援として、企画会議や役員会議に参加し、住民主体で事業運営ができるよう支援を行いました。また、きぼうファームで行っていた障害理解講座を、今年度よりケアプラザの自主事業として6月に障害理解講座を開催し、きぼうファームの取組と連携して行いました。総合相談で精神障害についての件数が多いことから、精神障害の特性とのかかわり方についてをテーマに開催しました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・福祉保健活動団体に対して、活動する場の提供を行いました。また、安全に利用していただくために、机を移動する際の注意喚起を行い、事故防止に努めました。
- ・登録団体説明会や年末大掃除会の中で、ケアプラザ利用に対する率直なご意見を伺う時間を設け、福祉保健活動団体等からいただいたご意見やご要望については、所内会議で検討し、よりご利用しやすい環境整備と適切な管理に努めました。
- ・緊急時の避難経路や館内の消火器の設置場所についての説明を行い、緊急時の対応について周知を行いました。
- ・館内と外の掲示板にて、2か月分の貸室予約状況をカレンダー形式で掲示をし、貸室の予約状況についての情報提供を行いました。
- ・登録団体が福祉保健活動に積極的に参加できるよう、ケアプラザの自主事業でのボランティア活動や地域活動につながるよう情報提供を行い、活動の場のコーディネートを行いました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ケアプラザの事業からボランティア活動につながるような仕組みを作り、ボランティアの育成に努めました。ケアプラザでのボランティア活動がきっかけで、障害者施設でのボランティア活動や他の福祉施設でのボランティア活動など、活動を広げるきっかけになっています。
- ・ケアプラザ新聞を通じて、ボランティア活動の情報提供を行いました。今年度新たに子育てサロンのボランティアとして3名の方が活動につながりました。
- ・登録団体や地域の団体に対して、ケアプラザの自主事業やデイサービス慰問などでのボランティア活動の場の提供を行い、ボランティア育成に努めました。今年度は22団体がケアプラザ自主事業においてボランティア活動を行いました。
- ・よこはまシニアボランティアポイントの登録研修会を3月に行い、65歳以上の地域の方のボランティア活動の支援を行いました。
- ・旭区ボランティアセンターと連携をし、ボランティア希望者への活動のコーディネートを行いました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・自治会や各種福祉保健活動団体の定期会合や行事に積極的に足を運び、情報収集を行い地域の状況把握や課題把握に努め、5職種で情報の共有を図りました。また、必要に応じて支援チーム会議等に情報提供を行いました。
- ・地域における福祉保健活動団体や社会資源を把握し、必要に応じて情報提供を行いました。
- ・地域の会議やケアプラザ新聞を通じて、ケアプラザの設置目的や機能、ケアプラザでの事業などの周知活動に努めました。
- ・地域のニーズに応じて、地域課題解決のために必要な情報提供を行いました。
- ・施設利用団体の活動紹介を掲示し、広く情報提供を行いました。また、登録団体説明会を行い、情報交換や交流の場を設けました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・きぼうタウンプロジェクトは2か所のカフェ運営の支援を引き続き行いました。包括と連携して「認知症サポーター養成講座」×「きぼうタウンプロジェクト」の講座をケアプラザや地区センター等で3回行い、プロジェクトメンバーが自ら啓発活動を行えるよう推進しました。
- ・みんなの集いの場（仮）はボランティアや参加者を中心に会が運営できるよう促してきました。31年4月から完全な自主化となるよう、1月～3月はプレ自主化という形で役割分担を決め、助成金を申請して住民主体の運営を開始します。また、男性も参加しやすいよう、「コーヒーの淹れ方講座」を1月～3月に同時に開催し、担い手も増やしていく予定です。ケアプラザは後方支援として関わります。
- ・ミュージックボランティア「音楽る」は地域活動の支援とケアプラザ自主事業の担い手としての活動にも力を入れました。集いの場が少ない地域に出向き、集いの場のきっかけとなるよう「うたごえカフェα」を3回実施し、参加者の声等を聴く事でボランティアが集いの場の必要性を感じてもらうことに努めました。次年度はメンバー自らが場づくりの担い手となれるよう促していきます。
- ・スクエアステップリーダー「ステップ1・2 希望の風」は地域活動の支援とケアプラザ自主事業、また、「希望カフェ」が今年度から取り組む介護予防・生活支援サービス補助事業の支援にも取り組みました。中には指導員免許を取得して地域活動に貢献しようという担い手も出てきました。
- ・ミ・デイを引き続き包括と共催して開催し、高齢者の困りごとの把握に努めました。
- ・地域活動支援（元気づくりステーションや老人会など）を引き続き行いました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・希望が丘南地区の買い物に関して困っている人について、昨年度の老人会へのアンケートに引き続き、民生委員協力による75歳以上の一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯に向け、買い物事情のアンケートを実施しました。アンケート結果より、何らかの買い物支援（移動販売、送迎サービス、付き添いなど）があったらいいなという意見が半数近くあり、必要ないと答えた人の中にも「2,3年後が心配」という意見がいくつあることがわかりました。まずはアンケート結果と移動販売についての情報を地域の方になげかけ、民生委員代表と連合長と話し合いを重ねながら、「いつまでも住みなれた街で自分らしく過ごす～地域で買い物支援について考える～」と称し、希望が丘南地区に向け、地域の買い物事業の状況と移動販売についての説明会＆話し合いの場を設け、買い物支援について考え、中でも特に困難な3自治会（善部むつみ、善部西、南希望が丘）を中心に「買い物支援プロジェクト」が立ち上がりました。今後はプロジェクトメンバーとともにいろんな角度から地域の買い物支援について考えていきます。
- ・希望が丘地区において、高齢者のちょっとした生活の困りごとに関してどれほど課題意識があるのか、連合自治会の協力のもとに「地域福祉アンケート」を全戸配布し、調査を開始しました。約半数弱の1500世帯からアンケートの回収がありました。担い手発掘を視野に入れながら、アンケートデータ入力ボランティアを募集したところ、3名の協力者があがり、データの出し方に関しても相談しながら進めていく予定です。アンケート結果を踏まえ地域の方と考える場を設け、協議していきます。
- ・連合自治会未加入の自治会に向け包括と共催で行った介護予防教室とケアプラザ周知活動に関して、ケアプラザのつながりが無い地域へ生活支援体制整備事業についての周知とそれに伴うボランティアの活動をそのまま示すことができたことで、参加者の理解を深めることができました。
- ・新たな地域資源や変更があったものなど、地域資源の把握に努め、地域資源サービスリストAyamuの更新を引き続き行いました。
- ・旭区生活支援コーディネーターで作成した「宅配スーパー・ドラッグストア一覧表」をケアマネ連絡会や老人会等でインフォーマルサービスとして配布しました。

(3) 連携・協議の場

- ・介護予防・生活支援サービス補助事業のサービスBに取り組む「希望カフェ」の支援を行いました。地域のボランティアや地域住民と連携ができるよう努めました。旭区役所、旭区社会福祉協議会、ケアプラザと連携して希望カフェが事業を進められるよう、協議の場を設けました。希望カフェスタッフに向け地域の現状や課題についての勉強会を開催しました。また、自治会や商店会などと繋がりが持てるよう地域福祉保健計画の取組につながる活動の提案や、ケアプランに取り込みやすいようプログラムの提案などを行い運営支援に努めました。
- ・希望が丘地区、希望が丘南地区のささえあい連絡会に支援チームとして参加し、地域の方と目指す地域像の共有に努めました。希望が丘地区では地域の方（支え合いのメンバー）から直接相談があった事例を支え合いの会議で意見として発言してもらい、様々な意見が出たことで、見守りについて考える場となりました。
- ・昨年度立ちあげたボランティア団体と地域活動団体、地域住民が連携し、自主的な活動の場となるよう、支援に努めました。
- ・希望が丘南地区の買い物課題について、「地域で買い物支援について考える」と題し、協議の場を設けました。会の進行に関して旭区役所、旭区社会福祉協議会とも連携を図りつつ、2回目の協議体では地域の現状や他地区の取組などを情報提供したことで、参加していた自治会長、民生委員、保健活動推進委員などが自分事と感じ、地域の課題を前向きに考えていく様子を伺うことができました。
- ・移動の課題に対して介護事業所の地域貢献の観点から地域との協議の場への参加や、協力を働きかけました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・旭区生活支援コーディネーター主催の3つの連絡会のうちの担当であるサロン連絡会では、運営する側のプログラムのマンネリ化の課題に対し、旭区の演芸ボランティアとサロン運営者とのマッチング会を開催しました。また、事業所からケアプラザへ演芸ボランティアの要請が多いこともあり、事業所運営者も参加可能とし、直接やり取りができるよう場の設定を行いました。企画やチラシの作成、準備などに携わり、旭区では初めての試みでしたが、運営側も演芸ボランティアも直接やりとりができるようになり良かった、横の繋がりもできて良かったなど、とても反響がありました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- ・個別相談から医療機関や事業者・地域住民等への調整や情報共有を行い、地域におけるネットワーク構築に努めました。
- ・高齢者の閉じこもり防止及びボランティア育成を目的としたミニデイサービスは定期的に開催を行い、活動の周知・広報により新規のご利用者・ボランティアメンバーも参加されました。
- ・介護者支援として実施している介護者の集いを隔月で年6回実施しました。ケアプラザ協力医にも参加協力いただき、11月からはイベント企画として講師を招いた取組も行い、対象者の開拓と介護者支援の輪を広げるよう努めました。

②実態把握

- ・総合相談の内容を統計データとして集計を行い、地域における課題の実態把握を行いました。
- ・事業実施後にアンケート調査を実施し、圏域におけるニーズ把握に努めました。
- ・圏域内での相談数の少ないエリアや地理的に遠方となるエリアへの働きかけと実態把握のため出張講座を実施し、多職種と連携してケアプラザや介護保険制度・認知症等についての周知・啓発と関わりの強化に努めました。

③総合相談支援

- ・地域住民の総合相談窓口として3職種各自がケースに合わせて個別対応を行いました。相談支援が滞りなく行えるよう連絡ノートの活用や毎朝のミーティング、カンファレンスを行うと共に、必要に応じ関係機関に繋ぎ、迅速かつ適切な対応ができるよう努めました。
- ・認知症カフェ支援やミニデイサービス・出張講座等の事業を通して総合相談に繋がるケースもあり、ケアプラザの総合相談窓口としての機能の周知を事業や広報誌を通して行いました。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・成年後見制度への理解や相談の機会の場合として「老いの不安対策講座」を司法書士事務所を講師に招いて9月に実施しました。同日に無料個別相談会も行い、後見や相続等複雑な法律制度の敷居で悩んでいる方々の支援を行いました。
- ・旭区版エンディングノート活用講座を3回シリーズで実施し、成年後見制度の周知や理解のみならず、健康寿命の増進・孤独死の防止・介護保険制度やケアプラザの機能の周知等、多岐にわたる内容について啓発を行いました。
- ・消費者被害防止のための街頭キャンペーンを区内13館のケアプラザ・区社協・区役所と共同して二俣川と鶴ヶ峰で実施し、消費者被害防止の普及啓発を行いました。
- ・認知症カフェやミディ等事業参加者にも消費者被害防止の注意喚起・啓発を行いました。

②高齢者虐待への対応

- ・虐待事例に対しては毎月の区とのカンファレンスで虐待の疑いのあるケースについて情報共有を行い、対応について協議を行い、連携して虐待防止に努めました。
- ・定期的に行っている介護者の集いで介護負担の強い介護者の方に参加頂き、ストレスを共有したり、他の介護者や協力医・専門職からのアドバイス等を受けることで介護負担についてのストレスを軽減し、虐待に追い詰められてしまう心理状態に至ることを防止するよう努めました。

③認知症

- ・ 8月に希望が丘南地区と希望が丘中地区の小学生を対象にしたジュニアボランティア講座をそれぞれ行いました。南地区対象の講座では車椅子体験や高齢者疑似体験を交えて認知症・高齢者について学んでもらいました。中地区対象の講座ではデイサービスでの高齢者ふれ合い体験を交えて高齢者・認知症・ケアプラザの役割について学んでもらいました。
- ・ 認知症サポーター養成講座は3回実施しました。11月には地区センターで実施し、12月には自治会主催で実施しました。地域を分けて行うことと、地域住民と共同して行うことで少しでも圏域を網羅できるよう意識しました。また、生活支援コーディネーターと共催で行い、毎回認知症カフェのメンバーに地域の認知症カフェを紹介してもらうことで、サポーターとしてのその後の活動に繋がるようにしました。
- ・ 圏域内2か所にある認知症カフェの活動支援では、包括ミニ講座の講師として、また参加者の方々の介護相談に応じることができるようになると共に、地域の方との顔の見える関係づくりを通し気軽に相談できる雰囲気づくりを目指しています。
- ・ 認知症SOS徘徊ネットワークについては事業の周知と登録の手続きのサポートを行いました。また、SOSネットワーク協賛店を回り、介護者の集い・サポーター養成講座・認知症カフェ等の案内をそれぞれ行い、支援の輪を広げられるように努めました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ インフォーマルサービス等の情報収集、更新整理に努め、地域住民に対し情報提供を行いました。
- ・ 生活支援コーディネーターと連携して「認知症になっても安心して暮らせるまち（きぼうタウン）をめざして」プロジェクトに参加し、認知症カフェ「みなとの茶店」「きっさプルメリア」の2か所に毎月参加、認知症等に関する取組を地域住民、関係機関等と連携して行いました。
- ・ 今年度より開始した横浜市介護予防・生活支援サービス事業者「希望カフェ」の連携支援、基本チェックリストの実施、サービス位置づけへの働きかけ、プラン位置づけを行いました。
- ・ 地区の民生委員や見守りの会等に参加して、地域の見守りネットワーク事業に積極的に関わりました。
- ・ ひとり暮らし高齢者見守り事業を地区の民生委員、区役所と協働して実態把握に努めました。

②医療・介護の連携推進支援

- ・ ケアマネジャーと医療機関とのネットワークの構築のための取組として、区ケアマネット運営委員会等に参加し、研修や情報交換会等を行いました。
- ・ ブロック毎（万騎が原、今宿、二俣川共催）のケアマネ事業所連絡会にて、歯科医師阿部医師、神奈川病院玉澤院長を招きケアマネジャーとの連携を目的にネットワーク構築のための研修を実施しました。
- ・ エリア内の医療機関を個別に訪問して、顔の見える関係づくり構築に努めました。
- ・ 医師、包括との連絡票などを活用して、近隣医師との連携に努めました。
- ・ エリア内の医師、薬剤師、在宅歯科医療連携室、介護事業者等関係者と連絡会「南希望が丘地域医療連絡会」を実施し、災害時の連携をテーマに意見交換しました。
- ・ 毎月、ケアプラザの広報誌を持参し、医療機関、薬局等を訪問し連携に努めました。
- ・ 施設協力医には「介護者の集い」や「認知症カフェ」の参加、月1回の医療相談と協力いただき、適宜相談しながら連携に努めました。

③ケアマネジャー支援

- ・適宜ケアマネジャーへの相談支援をはじめ、担当者会議、カンファレンス、困難事例のスーパーバイズ、対応、同行訪問等行いました。
- ・毎月、包括と居宅ケアマネジャーとのカンファレンスを行い、エリア内の利用者情報の共有を図りました。
- ・自主的に「南希ケアマネ連絡会」を開催し、エリアに関わるケアマネジャーを中心に研修、交流会を実施しました。4月ケアマネジャー同士の交流会、5月近隣のデイサービス見学会、7月身元保証・生活支援・葬送支援サービス事業所の紹介、10月介護予防ケアマネジメント介護予防プランの立て方、11月医療連携ツール「SBAR」の活用について、3月横浜市介護予防・生活支援サービスの紹介及び圏域のインフォーマルサービスの紹介を行いました。
- ・ブロック毎のケアマネジャー事業所連絡会（万騎が原、今宿、二俣川共催）を年4回実施、6月在宅歯科医療連携、9月葬儀に関する研修、12月認知症をテーマに医師の講義研修、2月に事例検討会を行いました。
- ・旭区内地域包括支援センター主任ケアマネジャーと区役所と共催で年2回、新人、就労予定ケアマネジャー研修を開催、施設見学や個別実習の受け入れ等を行いました。
- ・エリアの民生委員とケアマネジャー、多職種関係者との見守りをテーマにした意見交換会を2地区毎実施、顔の見える関係づくりから行いました。

（4）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・地域の関係機関などの相互の連携を高め、ネットワークを構築していけるよう、地域住民、民生委員、地域の医療・介護関係者など、多職種と協働し、事例を通して個別ケースの支援内容を多角的に検討し、課題解決を支援していけるよう個別ケース地域ケア会議を開催しました。
- ・また、個別ケース地域ケア会議で抽出された課題や地域アセスメントからの地域課題などからエリアの民生委員とケアマネジャー、多職種関係者との見守りをテーマにした意見交換会を2地区毎に関係者間で共有し検討する、包括圏域地域ケア会議を開催しました。

（5）介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・要支援者の主体性、意欲を引き出し、目的指向型の介護予防支援、介護予防ケアマネジメントを行いました。また、事業対象者のプランの実施、住民主体によるサービス「希望カフェ」への協力、支援、介護予防ケアマネジメントへの位置づけを行いました。
- ・委託を行う場合はケアマネジャーとの連携、適切なケアマネジメント支援に対しての関わりを積極的に行いました。
- ・自主的に行っている「南希ケアマネ連絡会」で、「介護予防・介護予防ケアマネジメント、委託の流れ、プラン作成の研修」を実施しました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

・平成30年度は、生活支援コーディネーター及び包括3職種が協働し介護予防教室とケアプラザの周知活動を実施しました。東希望が丘の5つの自治会に対して、東希望が丘ハイツ自治会館2回とつぼみ保育園3回の出張講座を開催しました。参加人数は多くはなかったものの、ケアプラザを知らなかったという方の参加もあり、ケアプラザの周知には繋がったと考えます。また、ちらしの中にも担当地域ケアプラザとしての役割を盛り込み回覧を行っていただくことで地域の方へも広報ができたのではないかと考えます。東希望が丘ハイツ自治会館では、市民病院のがん検診センターより「生活習慣病予防とがん検診」について、旭福祉健康センターより「生活習慣病」についての講演も行っていただき、参加者の方も健康についてより意識を高くしていただけたようです。

・善部町の2か所のマンション自治会では各自治会・全4回シリーズで出張講座を開催しました。ケアプラザの周知および地域包括支援センターの役割、生活体制整備事業について説明、ロコモ予防の体操、ボランティアさんによるスクエアステップ教室や音楽ボランティアさんによる歌の集いなど行いました。1か所のマンション自治会においては、継続した活動につなぐかマンションの役員さんの中で検討して頂いたところ、今回は一旦終了となりましたが、ケアプラザとの連携は続けて頂けるという回答をいただきましたので、随時連携を深めていきます。残る1か所については、会長さんとの連絡が難しい状況にあるため、次年度検討したいと考えています。

・ケアプラザにおいて、姿勢改善・元気に歩こう教室を開催し、ご自身の姿勢を知るとともに、いつまでも元気に歩ける姿勢と運動、フットケアの仕方を学んでいただきました。ご自身の姿勢を写真に撮り、視覚で確認していただくことで意識することができたとの声を多くいただきました。1回での習得は難しい、もっと行ってほしいとの声を多くいただいたので、1月、2月に第2弾を実施しました。

・認知症予防についての普及啓発として、オカダ外科医院・岡田院長の講演とコグニサイズを実施しました。コグニサイズは苦手という方も多いのですが、参加者の皆さん意欲的に取り組まれていました。

・今年度5周年を迎えた「元気づくりステーション 南希の森」をはじめ「元気づくりステーション ヒルズのわ」「元気づくりステーション ホープの友」の活動支援を実施しました。シニアサポーターひまわりの活動については、これまでの「元気づくりステーション 南希の森」の活動支援だけでなく、出張講座での活動支援を行っていただき、地域の方へのサポートも担っていただくことができました。参加することにより、ご自身が介護予防についてより学ぶことができたとの声をいただきました。

南希望が丘地域ケアプラザにおいて、第4か所目の「元気づくりステーション 中の原の和」を11月にオープンすることができました。開催にあたり、老人会がなくなった地区での開催とし、一人でも多くの方が地域の仲間と繋がることができればと考えています。20名を超える参加者があり、その半数以上が初めて元気づくりステーションに参加される方となっています。地域に根差したステーションとなるよう、活動支援を行っていきたいと考えています。

・地域の団体「みな元気旭！ステーション」や老人会・長寿会の身体測定・健康教室を実施しました。各団体が継続して活動できるよう支援に努めています。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・ 指定管理者として公の施設を適正に管理しました。
- ・ 施設利用に関して、地域ケアプラザとして適正に利用していただけるように利用者に丁寧に説明にあたりました。
- ・ 設備の保守管理に関して、日常的な点検を施設管理者により実施しました。
- ・ 設備の一部に関しては専門の業者と保守管理契約を結び、適切な管理を行いました。
- ・ 植栽の管理については専門の業者と保守管理契約を結び、緑の維持、管理を行いました。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・ 法人内のメールシステムを活用し、情報の伝達、帳票類の管理が正確かつ適正に行われるようにしました。
- ・ 労務、経理の事務処理については法人本部担当職員と連携をとり業務の効率化に努めました。
- ・ 水光熱費の節約に努め無駄なエネルギー費の削減に努めました。

(3) 苦情受付体制について

- ・ ご意見ダイヤルの利用に関する情報を各階に掲示しました。
- ・ 苦情解決の担当、解決責任者、対応の流れを明確にして館内に掲示しました。
- ・ 第三者委員会の設置を明確にして館内に掲示しました。
- ・ 利用者アンケートや、登録団体説明会などでいただいたご意見、ご要望については対応策を明確にし、ケアプラザ新聞により広く利用者や地域に方々に周知しました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・緊急時マニュアル、防犯マニュアルを整備し、緊急時の連絡先は事務所内に掲示しました。
- ・機械警備により 24 時間防犯体制をとりました。緊急発報はありませんでした。開館、閉館の時間の記録を残しました。
- ・機械警備のセキュリティキーは管理台帳で管理者を明確にし、管理しました。
- ・日常の館内点検を実施し記録に残しました。
- ・来館される方に挨拶、お声掛けを行い館内の様子を把握するよう努めました。
- ・朝礼時に館の一日の使用予定を職員間で共有しました。

(5) 事故防止への取組について

- ・日常設備点検、車両点検を実施し、整備不良による事故を防ぐように努めました。結果、整備不良による事故は発生していません。
- ・事故、並びにリスクの高いと思われる事柄については法人内リスクマネジメント委員会にて情報を共有し、職員に周知しました。
- ・労働安全衛生、健康管理（メンタルヘルス含む）への啓発に努め事故防止に努めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・内部研修にて個人情報保護の研修をしました。
- ・個人情報取扱業務一覧に基づき、適切に個人情報を取り扱いました。
- ・介護予防支援事業、居宅介護支援事業、通所介護事業の利用契約時には個人情報の使用に関して説明し同意を得てサービスを開始しました。

(7) 情報公開への取組について

- ・法人の事業計画書、事業報告書、予算書、決算書を窓口に設置しました。
- ・毎月の広報誌、掲示板を利用し新たな事業情報を公開しました。また、横浜市からの掲示依頼物は速やかに館内掲示板に掲示しました。
- ・30年度市民からの情報公開請求についてはありませんでした。
- ・30年度介護予防支援事業、通所介護事業、居宅介護支援事業の利用に関する記録の開示請求はありませんでした。

(8) 人権啓発への取組について

- ケアプラザ職員対象に「人権擁護」のテーマで内部研修を実施しました。
- ・地域の住民の方を対象に「消費者被害」「虐待」「障害」各テーマごとに講座を開催しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ごみの処分に関してはヨコハマ3R夢活動を推進し、マニフェストに沿ってゴミの処分を実施しました。
- ・古紙の処分はリサイクルに出し資源の再生に努めました。
- ・スマートクロックを使用することにより消費電力の可視化をし無駄な電力の削減に努めました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者 保健師等	1名（常勤兼務）
主任ケアマネジャー	1名（常勤兼務）
社会福祉士	1名（常勤兼務）

《目標に対する成果等》

要支援1・2、事業対象者と認定された地域の高齢者に対し、介護予防ケアプランを作成しました。作成にあたっては、サービス利用後の生活がイメージできるように、明確な目標設定を行うことにより行動意欲を高め、本人の主体性を尊重したケアプランの作成を行いました。

また、委託契約を結んでいる居宅介護支援事業所との連携及び支援を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

通常のサービス地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合、その交通費（実費）を徴収します。平成30年度はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

介護予防支援対象者へのスムーズな介護予防プランの提案・サービス提供が行えるように支援体制を強化しました。また、介護予防サービスが円滑に提供できるように、事業所訪問などにより、介護予防事業者やインフォーマル活動団体との関係づくりを行いました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
182	181	185	185	178	178
10月	11月	12月	1月	2月	3月
195	198	203	205	205	206

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

● 管理者 1名（常勤兼務）

● 介護支援専門員

4名 平成30年4月～平成30年8月（常勤兼務1名、常勤専従3名）

3名 平成30年9月～平成30年10月4日（常勤兼務1名、常勤専従4名）

4名 平成30年10月5日～平成30年3月（常勤兼務1名、常勤専従3名）

《目標に対する成果等》

- ・平成30年度新規契約 67件
- ・新規利用者67名の内82%が同包括エリアでのご利用者様となっています。
ケアプラザ併設の居宅介護支援事業所として、包括や地域の方との連携を図り、ケアマネジメントを通じた地域貢献を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ・通常のサービス地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合の交通費を徴収します。平成30年度はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・毎朝のミーティングを通じ業務内容と共に地域資源等の情報共有を行い、より良い支援が行えるよう努めました。
- ・地域包括支援センターと月に1度カンファレンスを行い、支援困難事例の状況報告や対応策を検討しました。
- ・定期的なケースチェックを行い、帳票類の不備がないかを確認しました。また、課題整理総括表を作成し、課題抽出やアセスメント能力の向上に努めました。
- ・個人情報保護マニュアルの検討会議を設け、見直しを行いコンプライアンスの徹底に努めました。
- ・ケアマネジャー連絡会や地域の勉強会に参加、また法人内の研修を企画運営し、職員の専門性を高め、より良いマネジメントを目指しました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護 134 支援 38	介護 145 支援 30	介護 138 支援 28	介護 139 支援 27	介護 132 介護 23	介護 129 支援 22
10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護 137 支援 26	介護 137 支援 27	介護 141 支援 30	介護 138 支援 33	介護 134 支援 33	介護 145 支援 28

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

(要介護1) 円
 (要介護2) 円
 (要介護3) 円
 (要介護4) 円
 (要介護5) 円

● 食費負担 円

-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : (半角で入力 例 9:00~15:00)

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護 対象外

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
（事業対象者） 円
- （要支援1） 円
- （要支援2） 円
- 食費負担 円
-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

平成30年度「横浜市南希望が丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,516,000	0	18,516,000	18,414,494	101,506	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	494,055	△ 494,055	
自主事業収入			0		0	
雑入	0		0	32,464	△ 32,464	
印刷代	0		0	22,000	△ 22,000	
自動販売機手数料			0	10,464	△ 10,464	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)			0	0	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	18,516,000	0	18,516,000	18,941,013	△ 425,013	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,403,000	0	10,403,000	11,101,050	△ 698,050	
本俸	8,100,000		8,100,000	7,927,284	172,716	
社会保険料	800,000		800,000	797,505	2,495	
手当計	1,403,000		1,403,000	2,232,670	△ 829,670	
健康診断費			0	39,828	△ 39,828	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	20,000		20,000	20,670	△ 670	
その他	80,000		80,000	83,093	△ 3,093	
事務費	2,568,860	0	2,568,860	2,187,247	381,613	
旅費	35,000		35,000	29,081	5,919	
消耗品費	200,000		200,000	276,362	△ 76,362	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	60,000		60,000	43,598	16,402	
通信費	600,000		600,000	422,667	177,333	
使用料及び賃借料	0	0	0	20,010	△ 20,010	
横浜市への支払分			0	10,464	△ 10,464	
その他			0	9,546	△ 9,546	
備品購入費	600,000		600,000	629,494	△ 29,494	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	30,000		30,000	16,800	13,200	
職員等研修費	30,000		30,000	68,286	△ 38,286	
振込手数料	10,000		10,000	1,080	8,920	
リース料	30,000		30,000	31,752	△ 1,752	
手数料	10,000		10,000	540	9,460	
地域協力費			0	0	0	
その他	963,860	0	963,860	647,577	316,283	
事業費	912,000	0	912,000	795,025	116,975	
運営協議会経費	42,000		42,000	43,434	△ 1,434	
指定管理料充当 事業	870,000		870,000	751,591	118,409	
管理費	3,799,900	0	3,799,900	3,071,171	728,729	
建築物・建築設備点検		0	0	0	0	
光熱水費	1,570,900	0	1,570,900	1,957,410	△ 386,510	
電気料金	1,231,900		1,231,900	1,663,255	△ 431,355	
ガス料金	48,000		48,000	49,780	△ 1,780	
水道料金	291,000		291,000	244,375	46,625	
清掃費	700,000		700,000	172,628	527,372	
修繕費	474,000	0	474,000	372,494	101,506	
機械警備費			0	0	0	
設備保全費	1,055,000	0	1,055,000	375,323	679,677	
空調衛生設備保守	65,000		65,000	21,993	43,007	
消防設備保守	200,000		200,000	71,399	128,601	
電気設備保守	500,000		500,000	160,362	339,638	
害虫駆除清掃保守	90,000		90,000	29,018	60,982	
駐車場設備保全費	200,000		200,000	69,642	130,358	
その他保全費			0	22,909	△ 22,909	
共益費			0	0	0	
その他			0	193,316	△ 193,316	
公租公課	832,240	0	832,240	888,084	△ 55,844	
事業所税			0	0	0	
消費税	832,240		832,240	888,084	△ 55,844	
印紙税			0	0	0	
その他 ()			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
支出合計	18,516,000	0	18,516,000	18,042,577	473,423	
差引	0	0	0	898,436	△ 898,436	

自主事業費収入	870,000		870,000	494,055	375,945	自主事業への参加料等
自主事業費支出	870,000		870,000	751,591	118,409	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 257,536	257,536	

管理許可・目的外使用許可収入	10,464		10,464	10,464	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	10,464		10,464	10,464	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市南希望が丘地域ケアプラザ」
 収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,344,000	0	23,344,000	23,149,013	194,987	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0	27,000	△ 27,000	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0	85,060	△ 85,060	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	10,464	△ 10,464	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	10,464	△ 10,464	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	0	0	
その他（提案時控除 法人負担分）	1,156,000		1,156,000	1,156,000	0	
収入合計	30,440,000	0	30,440,000	30,367,537	72,463	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,835,000	0	26,835,000	26,132,703	702,297	
本俸	18,935,000		18,935,000	14,912,977	4,022,023	
社会保険料	3,500,000		3,500,000	3,362,012	137,988	
手当計	4,000,000		4,000,000	7,106,381	△ 3,106,381	
健康診断費			0	28,076	△ 28,076	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	200,000		200,000	459,420	△ 259,420	
その他	200,000		200,000	263,837	△ 63,837	
事務費	1,399,900	0	1,399,900	1,402,613	△ 2,713	
旅費	30,000		30,000	8,420	21,580	
消耗品費	60,000		60,000	19,222	40,778	
会議賄い費			0	1,969	△ 1,969	
印刷製本費	50,000		50,000	5,012	44,988	
通信費	100,000		100,000	51,776	48,224	
使用料及び賃借料	0	0	0	13,001	△ 13,001	
横浜市への支払分	0		0	10,464	△ 10,464	
その他	0		0	2,537	△ 2,537	
備品購入費	100,000		100,000	930,118	△ 830,118	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	13,151	△ 13,151	
職員等研修費	50,000		50,000	78,206	△ 28,206	
振込手数料	10,000		10,000	11,232	△ 1,232	
リース料	30,000		30,000	31,752	△ 1,752	
手数料	10,000		10,000	0	10,000	
地域協力費			0	0	0	
その他	959,900	0	959,900	238,754	721,146	
事業費	1,195,000	0	1,195,000	918,035	276,965	
協力医	630,000		630,000	462,000	168,000	
指定管理料充当 事業（包括）	105,000		105,000	86,355	18,645	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000	141,950	9,050	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	227,730	81,270	
管理費	1,010,100	0	1,010,100	816,375	193,725	
建築物・建築設備点検	60,000		60,000	0	60,000	
光熱水費	664,100	0	664,100	520,323	143,777	
電気料金	590,100		590,100	455,367	134,733	
ガス料金			0	0	0	
水道料金	74,000		74,000	64,956	9,044	
清掃費	60,000		60,000	45,888	14,112	
修繕費	126,000		126,000	99,013	26,987	
機械警備費			0	0	0	
設備保全費	100,000	0	100,000	99,764	236	
空調衛生設備保守	10,000		10,000	5,846	4,154	
消防設備保守	20,000		20,000	18,979	1,021	
電気設備保守	40,000		40,000	42,625	△ 2,625	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	7,713	2,287	
駐車場設備保全費	20,000		20,000	18,512	1,488	
その他保全費			0	6,089	△ 6,089	
共益費			0	0	0	
その他			0	51,387	△ 51,387	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
支出合計	30,440,000	0	30,440,000	29,269,726	1,170,274	
差引	0	0	0	1,097,811	△ 1,097,811	

自主事業費収入	105,000		105,000	112,060	△ 7,060	自主事業への参加料等
自主事業費支出	105,000		105,000	456,035	△ 351,035	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 343,975	343,975	

管理許可・目的外使用許可収入	10,464		10,464	10,464	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	10,464		10,464	10,464	0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
老人会・長寿会 活動支援	地域住民	0	地活						
	30人		包括						
	無料		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
みな元気旭 ひよどりサロン 活動支 援	高齢者	0	地活						
	25人		包括						
	無料		介護	0	0	0	0	0	0
			生活						
みな元気旭 愛唱会 活動支援	高齢者	0	地活						
	15人		包括						
	無料		介護	0	0	0	0	0	0
			生活						
シニアサポーターひまわ り	高齢者	0	地活						
	62人		包括						
	無料		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
GoGo健康！ 姿勢改 善・歩こう教室	高齢者	53,408	地活						
	65人		包括						
	無料		介護	53,408	0	0	50,000	356	3,052
			生活						
GoGo健康！ 健やか健 康教室 ～明日のため に～	高齢者	56,556	地活						
	65人		包括						
	無料		介護	56,556	0	0	50,000	2,268	4,288
			生活						
GoGo健康！ 生き生き 健康教室 ～with～	地域住民	27,406	地活						
	72人		包括						
	無料		介護	26,286	0	0	22,000	0	4,286
			生活	1,120		0	0	0	1,120
元気づくりステーション 南希の森支援	高齢者	0	地活						
	690人		包括						
	800円(1か月)		介護	0	0	0	0	0	0
	(CP収入は無し)		生活	0	0	0	0	0	0
元気づくりステーション ヒルズのわ支援	高齢者	0	地活						
	538人		包括						
	1000円(2か月)		介護	0	0	0	0	0	0
	(CP収入は無し)		生活	0	0	0	0	0	0
元気づくりステーション ホープの友支援	高齢者	0	地活						
	471人		包括						
	1000円(2か月)		介護	0	0	0	0	0	0
	(CP収入は無し)		生活	0	0	0	0	0	0
元気づくりステーション 中の原の和支援	高齢者	0	地活						
	187人		包括						
	250円(1回)		介護	0	0	0	0	0	0
	(CP収入は無し)		生活	0	0	0	0	0	0
認知症講座	地域住民	26,700	地活						
	30人		包括	21,000	0	0	21,000	0	0
	無料		介護	5,700	0	0	5,000	0	700
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ミ・ディ	高齢者	56,329	地活	24,135	25,100	0	2,000	36,317	10,918
	156人		包括						
	200円(ボランティア一人100円)		介護						
			生活						
介護者の集い	地域住民	2,020	地活	120	1,900	0	0	2,020	0
	40人		包括						
	100円(11月より)		介護						
			生活						
認知症サポーター養成講座	地域住民	2,460	地活	2,460	0	0	0	0	2,460
	65人		包括						
	無料		介護						
			生活						
旭区版エンディングノート活用講座	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	53人		包括						
	無料		介護						
			生活						
老いの不安対策講座 自分と家族を守る遺言・後見	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	29人		包括						
	無料		介護						
			生活						
希望が丘南地区ジュニアボランティア養成講座	ジュニアボランティア	0	地活	0	0	0	0	0	0
	13人		包括						
	無料		介護						
			生活						
希望が丘中地区ジュニアボランティア養成講座	ジュニアボランティア	0	地活	0	0	0	0	0	0
	9人		包括						
	無料		介護						
			生活						
Dandy Kitchen ふれあい子ども食堂	主に小学生	108,762	地活	65,662	43,100	0	0	91,122	17,640
	406人(見学者含む)		包括						
	子ども100円、大人400円		介護						
	外部見学者食事代200円		生活						
歌声喫茶	地域住民	111,601	地活	1	111,600	0	93,540	0	18,061
	1039人(見学者含む)		包括						
	100円		介護						
	別途歌集代450円		生活						
ふらっとサロン	地域住民	84,602	地活	1,301	83,301	0	0	80,450	4,152
	309人		包括						
	200円程度		介護						
			生活						
ゆったり体操教室	高齢者	147,072	地活	38,272	108,800	0	133,632	0	13,440
	273人(見学者含む)		包括						
	400円		介護						
	見学者は参加費徴収無		生活						
子育てサロンmam-mam	0歳児～未就園児	14,132	地活	4,432	9,700	0	2,000	4,000	8,132
	258人		包括						
	100円		介護						
			生活						
登録団体説明会	登録団体	0	地活	0	0	0	0	0	0
	45人		包括						
	無料		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ボランティアの集い	ボランティア	29,066	地活	26,600	0	0	0	0	26,600
	32人		包括						
	無料		介護						
			生活	2,466	0	0	0	0	2,466
みんなで大掃除会	登録団体	1,967	地活	1,967	0	0	0	1,127	840
	45人		包括						
	無料		介護						
			生活						
ケアプラザ祭り	地域住民	131,833	地活	36,733	95,100	0	0	119,829	12,004
	497人		包括						
	200円程度		介護						
			生活						
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	65歳以上	0	地活	0	0	0	0	0	0
	3人		包括						
	無料		介護						
			生活						
さわやかクローバークラブ	障がい児者	85,532	地活	43,978	41,554	0	0	0	85,532
	40人		包括						
	1000円程度		介護						
			生活						
親子のフリースペース	親子	6,720	地活	6,720	0	0	0	0	6,720
	114人		包括						
	無料		介護						
			生活						
みんなのフリースペース	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	1人		包括						
	無料		介護						
			生活						
障害理解講座	地域住民	25,000	地活	25,000	0	0	25,000	0	0
	43人		包括						
	無料		介護						
			生活						
スイートピーくらぶ	精神障害のある女性	3,194	地活	2,294	900	0	0	3,194	0
	8人		包括						
	100円程度		介護						
			生活						
きぼうファーム	障がい児者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	70人		包括						
	300円(CP収入は無)		介護						
			生活						
南希CPエリア地域防災拠点連絡会	地域防災拠点委員	4,576	地活	4,576	0	0	0	0	4,576
	37人		包括						
	無料		介護						
			生活						
きぼうタウンプロジェクト	地域住民	4,810	地活						
	48人		包括						
	無料		介護						
			生活	4,810	0	0	0	1,840	2,970
認知症 & 予防カフェ「みなとの茶店」「きっさブルメリア」支援	地域住民	5,800	地活						
	464人		包括						
	みなと300円(CP収入は無)		介護						
	ブルメリア200円(CP収入は無)		生活	5,800	0	0	0	0	5,800

平成30年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
ミュージックボランティア 「音楽る(おとがくる)」	ボランティア	5,419	地活	0	0	0	2,484	2,935
	497人		包括					
	無料		介護					
			生活					
スクエアステップリー ダー 「ステップ1・2希望の風」	ボランティア	47,292	地活	0	0	0	40,020	7,272
	226人		包括					
	無料		介護					
			生活					
みんなの集いの場(仮) (1月の自主化から) みんなの集いの場	地域住民	79,510	地活	77,410	0	0	48,070	31,440
	532人		包括					
	200円		介護					
	(1月よりCP収入は無)		生活					
うたごえカフェα	地域住民	17,108	地活	7,650	0	0	8,846	8,262
	117人		包括					
	100円(6/30、3/17)		介護					
	50円(12/1)		生活					
横浜銀行希望ヶ丘支店 社員向け勉強会	企業職員	0	地活	0	0	0	0	0
	15人		包括					
	無料		介護					
			生活					
生活支援・介護予防補 助事業サービスB 希望 カフェ 支援	NPO法人職員・地域住	0	地活	0	0	0	0	0
	71人		包括					
	無料		介護					
			生活					
第一支部老人会活動支 援	地域住民・看護学生	600	地活	0	0	0	0	600
	67人		包括					
	無料		介護					
			生活					
旭区老人クラブ連合会 女性委員会勉強会支援	旭区老人クラブ連合	400	地活	0	0	0	0	400
	20人		包括					
	無料		介護					
			生活					
旭区サロン連絡会フェス ティバル	地域住民・施設運営者	5,100	地活	0	0	0	0	5,100
	162人		包括					
	無料		介護					
			生活					
希望が丘南地区買い物 支援プロジェクト	地域住民	1,797	地活	0	0	0	0	1,797
	74人		包括					
	無料		介護					
			生活					
希望が丘地区ちょこボラ 生活支援プロジェクト	地域住民	920	地活	0	0	0	0	920
	35人		包括					
	無料		介護					
			生活					

平成30年度 自主事業報告書

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
Dandy Kitchen ふれあい 子ども食堂	主に小学生を対象に、子どもの居場所支援、孤食支援、学習支援、地域の大人との顔の見える関係づくりを目的に開催しました。また、ボランティア活動の支援を行い、子ども支援における担い手づくりを行いました。16時から17時30分までは、フリータイムとし、地域のボランティアによる学習支援や、学校や年齢を超えた子どもたちの交流の支援を行いました。17時30分より食事の提供を行いました。8月は台風のため中止になりましたが、12月は9時から17時までの開催とし、書道教室を3回行い、冬休みの書初めの宿題の支援を行いました。また、地域の方にご協力いただき、ブンブンゴマ製作を行いました。	毎月第2木曜日 16時～ 18時30分 12月27日 9時～17時 年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声喫茶	地域住民（主に中高年）を対象に、歌を歌うことでの健康増進を目的として開催しました。参加者に事業の準備や片づけを呼びかけ、参加者皆で会を運営していただけるよう事業を行いました。	毎月第1土曜日 10時～12時 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふらっとサロン	地域住民の交流の場の提供と、ボランティア活動の場を提供する目的で開催しました。ケアプラザ新聞やチラシ等で周知を行いました。小さいお子さん連れや、障害のある方にも参加していただけるよう事業を実施しました。	第2第4日曜日 13時～ 15時30分 年23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆったり体操 教室	既存の体操教室に参加が難しい高齢者を対象に介護予防を目的として開催しました。イスに座って、セラバンドやゴムボールを使用した体操を60分、カードや輪投げなどのレクリエーションやゲームを30分行いました。	第2第4水曜日 10時～ 11時30分 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサロン mam-mam	0歳児から未就園児の親子を対象に親子交流サロンを開催しました。前半はフリースペースとして、後半はママのヨガ教室を開催しました。季節に応じたイベントや行政との共催事業なども行いました。12月はボランティア団体による人形劇などのお楽しみ会、2月には旭消防署・さちが丘消防出張所の協力のもと乳幼児救急救命教室を開催しました。また、地域の子育て経験者にボランティアを呼びかけ、活動の場の提供を行いました。	第1木曜日 10時～ 11時30分 年10回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録団体説明会	ケアプラザを利用されている団体向けに、貸館の申込みや利用方法、緊急時避難経路について説明を行いました。会の最後には、日ごろ利用されている皆さんからご意見を伺う時間を設け、利用についてのご意見や質問を伺いました。	3月26日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティアの集い	ケアプラザや地域で活動をされているボランティアを対象に、ボランティア同士の交流の場の提供と、情報交換や意見交換を行う目的で開催しました。日頃ボランティアと関わりのある生活支援コーディネーター、地域包括支援センターの職員にも参加してもらい、ボランティアとの交流を図りました。日頃の感謝の気持ちを込めて、職員によるハンドベルの演奏を行いました。今年度は生活支援コーディネーターと共催で実施しました。	3月28日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで大掃除会	貸館で利用されている団体に案内をして、福祉保健活動の一環として使用している部屋の清掃をしていただきました。調理室を利用している団体には、6月にも調理室の大掃除をしていただきました。	6月18日 12月28日 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ祭り	日ごろの感謝の気持ちを込めて、地域住民との交流の場として開催しました。子ども向けのコーナー、飲食販売コーナー、障害事業所の販売コーナー、ステージ発表等を設けました。ボランティア活動の場の提供も行いました。	10月27日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	65歳以上の方を対象に、よこはまシニアボランティアポイントの登録研修会を開催しました。ケアプラザ自主事業でボランティア活動を始め方のほか、地域の一般の方にもケアプラザ新聞を通じて周知を行い、ボランティア活動や地域活動の参加のきっかけづくりを行いました。	3月18日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子のフリースペース	子育て支援の一環として、地域の子育て中のママたちの交流と、遊び場の提供を目的として実施しました。親子のフリースペースとして多目的室を開放し、大型玩具や知育玩具を用意して、参加費無料で自由に利用していただけるように実施しました。	毎月第3月曜日 10時～ 11時30分 年12回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さわやかクローバークラブ	障害児者の余暇支援の場と、地域の方との繋がりづくり、障害児者支援にかかわる担い手の育成を目的として実施しました。年齢、障害種別を問わず広く参加者を募りました。5月は里山ガーデンとズーラシアへ、夏休み期間には、地域活動ホームサポートセンター連との共催事業として実施し油壺マリンパークへ、3月にはマクセルアクアパーク品川へ外出プログラムを開催しました。	5月6日 8月21日 3月17日 年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなのフリースペース	夜間帯の貸館の有効活用と、地域の方々の居場所支援、中学生や高校生の学習する場や居場所の提供を目的として実施しました。地域ケアルームは勉強スペースとして、ボランティアルームは一般の方のフリースペースとして場所を提供しました。	毎月4回 不定期 18時～20時 年41回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害理解講座	障害理解・啓発を目的として、地域住民を対象に障害理解講座を開催しました。今年度は精神障害の理解をテーマに、障害特性とかかわり方について講師の方にお話をいただきました。	6月1日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スイートピーくらぶ	精神障害のある女性を対象に、同じ精神障害を持っている人同士の交流と、居場所支援を目的としてサロンを開催しました。参加者の生活課題の解決に繋がるよう、茶話会の他、冷凍食品やお惣菜をアレンジした簡単調理教室や、ヨガなどの軽い運動のプログラム等を実施しました。また、さわやかクローバークラブと共催で、外出プログラムを行いました。	5月12日 7月14日 11月10日 3月17日 年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きぼうファーム	希望が丘地区・希望が丘南地区支えあい連絡会、第3期地域福祉保健計画の取り組みの一環として実施しました。『きぼうファーム』を通じて、障害児者やご家族と交流を図り、顔の見える関係づくりや相互理解を深めることを目的として開催しました。障害児者余暇支援事業として、11月にさつまいもの収穫祭、1月にわくわくスポーツかいを実施し、ケアプラザは事業開催の後方支援を行いました。	11月17日 1月19日 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
南希CPエリア地域防災拠点連絡会	ケアプラザエリアにある3つの地域防災拠点と連携して、災害時における障害児者への防災拠点での受け入れや、対応について具体的な取り組みや仕組みづくりを行う目的で開催しました。第1回目は障害についての勉強会と受け入れについての課題の共有、第2回目は障害児者受け入れ・対応についての意見交換、第3回目は避難所ヘルプカードの作成についての話し合いと、福祉避難所について区の担当係長より説明をしていただきました。	6月16日 11月17日 2月17日 年3回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
老人会・長寿会 活動支援	老人会・長寿会の身体測定を行うことにより、現在のご自身の健康度を意識していただき、今後の介護予防に取り組んでいただくことを目的としました。ご自身の健康状態の確認とハマトレを実施しました。	10月22日・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みな元気旭 ひよどりサロン 活動支援	ひよどりサロンの参加者に対して、サロンとしての介護予防の取組の重要性をお話しするとともに、ケアプラザの取組についてもお知らせし、今後も継続できるよう活動の支援を行いました。	11月15日・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みな元気旭 愛唱会 活動支援	愛唱会の参加者に対して、会としての介護予防の取組の重要性をお話しするとともに、今後も継続できるよう活動の支援を行いました。	10月1日・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりス テーション支援 南希の森 ヒルズのわ ホープの友 中の原の和	昨年に引き続き、地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って後方支援を行いました。また、参加者にはより一層自分達での運営の意識を高めていけるよう活動の支援を行いました。	南希の森 年34回 ヒルズのわ 年24 回 ホープの友 年24 回 中の原の和 年12 回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GoGo健康！ 姿 勢改善・歩こう 教室	正しい姿勢で歩くことで、いつまでも元気に暮らすことができることを目標に実施しました。姿勢の測定によりご自身の姿勢を視覚で確認し、正しい姿勢を意識していただけるよう実施の前後で写真撮影を行いました。また、正しい姿勢をとるため、肩甲骨の運動や下肢の筋膜はがし運動、靴の選び方、足のメンテナンスについても学んでいただきました。	全3回 5月16日・1 月30日・2月20日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GoGo健康！ 健 やか健康教室 ～明日のために ～	希望が丘連合に加入されている東希望が丘の自治会があるが、南希望が丘地域ケアプラザが担当ケアプラザということが周知できていない現状と、遠いため介護予防教室への参加者が少ないため、出張講座を開催しケアプラザの周知と健康教室によりロコモ予防の必要性を学んでいただきました。	全5回 7月19日・8 月2日・9月15日・ 10月20日・11月17 日

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GoGo健康！ 生き生き健康教室 ～with～	希望が丘南連合に加入されていないマンション2か所において、南希望が丘地域ケアプラザとの連携が難しいため、ケアプラザの周知のための勉強会と介護予防教室を開催することで、マンション住人との連携を深めるための出張講座を開催しました。	【コスモ南万騎が原】全4回 9月8日・9月19日・ 10月6日・10月17日 【モア・クレスト南まきが原】全4回 3月2日・3月9日・ 3月23日・3月30日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニアサポーターひまわり	地域活動の介護予防ボランティアの一員として活動できるスキルを学んでもらうことで、自分たちの生きがいや地域の担い手になっていく気持ちを育てるための勉強会を開催しました。	11回（8月を除く）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症講座	地域での認知症についての周知と理解を深めるとともに、認知症予防運動を実践してみることで認知症予防について関心を深めることを目的とし、ケアプラザ協力医岡田医師による「認知症の方への接し方」の講座とリハビリテーション体育士によるコグニサイズの実践を行いました。	10月30日・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ミ・デイ	月に1回の事業への参加を通し、高齢者の方の閉じこもりの防止と仲間づくりの機会の提供を行いました。ハンドベルや歌、工作による手作業、脳トレや体を軽く動かすミニ運動会など、介護予防の要素も盛り込んでいきました。5月には山下公園のバラ園の散策と外食を兼ねた外出レクリエーションを行いました。	第2月曜日 10時～11時半 年10回（6・8月除く）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者の集い	地域の介護者を対象に、施設協力医からのアドバイスも頂きながら、参加される方同士の情報交換や交流、気分転換を図る場を提供していきました。介護に役立つ情報なども提供し、日頃の介護の悩みや疲れを共有していける場となることを目指しました。	第2水曜日 14時～15時半 奇数月年6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	認知症になっても安心して暮らせる街を目指し、地域で暮らす認知症の人やその家族を見守る認知症サポーターを増やしていくことを目指し開催しました。認知症カフェで活動している地域住民や、自治会の方と協力して開催することで地域の自主性を高めていけるようにしました。	7月17日・11月25日・12月8日 年3回実施

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
旭区版エンディングノート活用講座	地域住民を対象に、旭区版エンディングノートの書き方や活用方法を学ぶことを通し、自分の生活やこれからのことを改めて見直し、より豊かな生活を営めることを目的として実施しました。介護が必要になったときの介護保険の説明、成年後見制度の基礎知識、相続、死後事務委任など、終活についての内容を盛り込んだ講座を開催しました。	1月12日、2月9日、3月2日に3回シリーズとして実施

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
老いの不安対策講座 自分と家族を守る遺言・後見	地域の方が相続の問題や遺言書の作成・成年後見制度等、自分の家族の財産を守るための法制度を学ぶことができるよう開催しました。午前中は司法書士によるセミナーを実施し、午後は個別相談会を行いました。	9月30日・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
希望が丘南地区ジュニアボランティア養成講座	希望が丘南地区のジュニアボランティアを対象に、高齢者・認知症についての講座や、福祉体験キットと車椅子の利用体験を通し、福祉についての理解を深める活動を希望が丘南地区民生委員児童委員協議会の後方支援で行いました。	8月3日・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
希望が丘中地区ジュニアボランティア養成講座	希望が丘中地区のジュニアボランティアを対象に、ケアプラザの役割・高齢者・認知症についての講座や、デイサービスでの高齢者とのふれあい体験を通し、福祉についての理解を深める活動を希望が丘中地区民生委員児童委員協議会の後方支援で行いました。	8月17日・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
きぼうタウンプロジェクト	「認知症になっても安心して暮らせるまち」を目指し、認知症の方やその家族に対し地域で出来る事を実現させるために発足したプロジェクト。昨年度第1弾の取組として認知症カフェを2か所設立し、参加する方の居場所となりました。今年度は2つのカフェの更なる発展と情報共有、認知症サポーター養成講座の後方支援など、一人でも多くの地域の方に認知症についての理解を深めることを目的として活動を行いました。引き続き、4か月に1回程、きぼうタウンプロジェクトミーティングを行い、2つのカフェの情報共有や課題について話し合いを深めました。	5月23日 9月26日 1月23日 (認知症サポーター養成講座支援) 7月17日 11月25日 12月8日

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症&予防カフェ 「みなとの茶店」 「きっさプルメリア」 支援	きぼうタウンプロジェクトの第1弾の取組として希望が丘南地区に設立した認知症&予防カフェ「みなとの茶店」と「きっさプルメリア」。引き続き、地域の認知症の方や家族の方の居場所づくりや活躍の場、地域の方との交流の場、認知症について考える場、早期発見のきっかけの場となることを目的とした地域の活動を専門職の立場として支援を行いました。地域包括支援センターは相談役、認知症サポート医の先生とのつなぎ役として支援し、生活支援コーディネーターは相談役、会の運営など全体の支援を行いました。	「みなとの茶店」 毎月第1水曜日 14時～15時半 年12回 「きっさプルメリア」 毎月第3土曜日 14時～15時半 年12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ミュージックボランティア 「音楽る（おとがくる）」	昨年度、高齢者などの地域の集まり、認知症カフェなどで活躍できるボランティア団体「音楽る」を発足。地域の活動の活性化と集いの場のきっかけづくりを行う目的で活動を行いました。今年度は子供などの世代に対しても幅広く活動の場を広げていきました。月に1回ミーティングを行い、話し合いを重ねながら活動を行いました。地域のイベントや老人会、子供会、デイサービスでの活動などを行いながら、ケアプラザから遠い地区や集いの場の少ない地域に出向き、「うたごえカフェ」を開催しました。自主的な活動へつながるよう支援を行いました。外出困難な方への個別訪問もチラシを作成し、広報活動を行いました。	(ミーティング) 毎月第1月曜日 14時～15時半 年12回 (練習、打合せ等) 毎月第3月曜日 12時～17時 年12回 (支援活動) 年36回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
スクエアステップリーダー 「ステップ1・2希望の風」	スクエアステップリーダー講座の受講者を対象に、地域に介護予防を推進する担い手として「ステップ1・2希望の風」を発足。高齢者や子供が集う既存の集まりの支援とともに、「みんなの集いの場」の担い手、介護予防・生活支援補助事業サービスBの担い手となるよう活躍の場を提供しました。中希望が丘「みんなの集いの場」の運営を主体となって行っていけるよう支援を行いました。今年度は介護予防・生活支援補助事業サービスBにも運営のボランティアとしての活動の場を提供しました。2か月に1回ミーティングを開催し、ケアプラザの自主事業の支援などの活動の場を提供しつつ、自主的な活動への支援を行いました。	(ミーティング) 2か月に1回程度 4/5、6/7、8/2 10/4、12/13、 1/31、3/27 年7回 (支援活動) 年30回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなの集いの場(仮) (1月の自主化から) みんなの集いの場	比較的集いの場が少ない中希望が丘地区に新たな集いの場を作り、誰もが気軽に集える場所として、地域の方たち(ボランティア団体、自治会、民生委員等)とのネットワークの構築を目指し、ステップボランティアとコーヒボランティアとの協力を得ながら開催し、運動を取り入れ、介護予防の機会も増やしました。今年度は地域の方で運営できるよう進め、1月よりボランティアを中心に自主化され、ケアプラザとして引き続き、運営がスムーズに進行できるよう活動支援を行いました。	毎月第2・第4火曜日 14時～16時 (自主事業) 30年4月～12月 計17回 (活動支援) 31年1月～3月 計6回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うたごえカフェ α	ケアプラザまで来るのが遠い地域を対象に音楽を通じて集いの場の提供を行いました。ボランティアの音楽が主体となり、閉じこもりがちな方の外出のきっかけづくりと、ボランティア団体の主体性を持った活動につなげることを目的として開催しました。希望が丘地区エリアを中心に、①希望が丘地区センター ②東希望が丘ハイツ集会所 ③中希西部自治会館 の3か所で開催し、普段集うきっかけがない方のニーズに応えることができました。	6月30日 12月1日 3月17日 年3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜銀行希望ヶ丘支店 社員向け勉強会	前任の支店長の繋がりから地域貢献の相談があり、地域の銀行として地域に何ができるかを共に考えるにあたり、まずは地域の現状や課題を知ってもらうため、社員向けに勉強会を開催しました。地域の組織や特徴、地域の現状と課題についてや介護保険制度について説明し、地域貢献につながるような活動を企業として行い、地域にとってもプラスとなるような連携がとれるよう支援を行いました。	8月23日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
生活支援・介護予防補助事業サービスB 希望カフェ 支援	生活支援・介護予防補助事業サービスB（通所支援）の取り組みに手を挙げた希望が丘商店会中にあるコミュニティカフェ「希望カフェ」の申請手続きの支援及び、活動支援を行い、事業を円滑に進められるよう、また、地域に根差した活動となれるよう、支援を行いました。関係機関との会議を設置し、スタッフ向けの勉強会や地域の現状や課題について説明を行いました。また、現利用者の基本チェックリストの実施など、活動に向けての支援を幅広く行いました。	5/7、5/29、6/28、 8/29、9/14、 11/14、11/28、 12/8、12/12、 1/9、2/13、2/20、 3/13、3/16 年14回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
第一支部老人会 活動支援	第1支部老人会と看護学生との交流会や初釜会について、企画段階より相談を受け、開催支援を行いました。看護学生との交流会は、区役所の保健師、包括の看護師にも参加してもらい、学生が気軽に話を聞けるような企画を提案しました。ハマトレ体操の体験版を行い、次世代を担う若い世代に老人会などの地域活動の理解を深めるための支援を行いました。	9月21日 1月24日 年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
旭区老人クラブ連合会女性委員会勉強会支援	旭区老人クラブ連合会女性委員会より、30年度の勉強会のテーマ「地域で見守る認知症」について「認知症カフェや集いの場」についての取組を話してもらいたいという相談があり、勉強会の講師として支援を行いました。「きぼうタウンプロジェクト」と「みんなの集いの場」の事例を発表し、受講した方が自分の地域での活動に活かしていけることを目的として行いました。	4月17日

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
旭区サロン連絡会フェスティバル	旭区サロン連絡会で、サロンのプログラム支援として演芸ボランティアとのマッチング会を開催。施設運営者も参加できるように、フェスティバルとして旭区全域を対象とし、他CPの生活支援コーディネーターと旭区社協と共催し、企画から開催までを行いました。演芸ボランティアとサロン活動者や施設運営者が気軽にやりとりできる場を設けることができました。	11月9日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
希望が丘南地区買い物支援プロジェクト	駅から比較的遠い希望が丘南地区に向け、買い物が困難な高齢者を対象に、老人会、民生委員見守り対象の1人暮らし高齢者や高齢者世帯に向け買い物事情アンケートを実施し、アンケート結果を民生委員や自治会などに伝え、地域住民への理解を深めるとともに、買い物支援の手段についての紹介なども行い、地域で買い物支援について考える協議体を開催しました。主に課題のある3自治会（善部むつみ、善部西、南希望が丘）の自治会役員や民生委員が集まりプロジェクトチームを発足し、移動販売やコミュニティバス、バス便の増設などあらゆる方面から地域で取り組める買い物支援について協議を行いました。	11月22日 12月16日 1月6日 2月3日 3月3日 年5回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
希望が丘地区ちょこボラ生活支援プロジェクト	希望が丘地区の高齢者からちょっとした困りごとを相談されることがよくあるものの、すぐに対応してもらうサービスが少ない状況になっている。困っている人や地域でのちょこボラ活動に参加する人がどれだけいるかを希望が丘連自治会の協力を得て全戸配布アンケート調査を行いました。また、アンケート入力ボランティアなども募集し、自分事とを考えてくれる人が増えるよう働きかけをし、アンケート結果をなげかけ、地域で考えていけるよう協議体のたちあげの準備を行いました。	11月24日 12月15日 2月12日 年3回